



令和3年度 市川中1年グランドデザイン



学年経営目標

自他を大切にする生徒を育てる

今年度の重点取組及び分掌

取組の指標

確かな学力の育成

- ・学習意欲を高めるための授業の工夫
対話のある授業を計画的に実施し、生徒一人ひとりの活動のある場を授業をめざす。
- ・自主学習の取り組み
基本的に毎日提出し、家庭学習の習慣化をはかる。また、努力が成果につながる実感を持てるような取り組みを行う。
- ・進路学習
自分の良さを見つけ出し、将来の進路選択につなげる学習を行う。
- ・テスト前放課後学習会
「テストに向けた勉強方法」を学び、自分で学習に取り組む力を伸ばす。

豊かな心の育成

- ・一人ひとりの存在感ある集団づくりにつとめる。
係や当番活動を工夫し、一人ひとりの居場所がある学級づくりをめざす。
- ・自他を尊重できる心を育てる。
自分の可能性に気づき、将来に向けた努力ができるよう指導を工夫する。また、他者の努力に気づき、相手の気持ちを大切にしよう指導する。
- ・学年職員全員で道徳の授業を行い、多様な考えに触れる。
- ・生活記録ノートを活用し、生徒理解を図る。また、生徒の様子を共有して同一歩調で指導を行う。
- ・他者を傷つける言動を許さない集団づくりをめざす。

健康・安全の向上

- ・自立した生活に向けた指導を図る。
身の回りの整理整頓の方法や、家庭での時間の使い方を考えるなど、自立のために必要なスキルを高めるよう指導を工夫する。
- ・適切な感染症対策がとれるよう、養護教諭と連携して指導に当たる。
- ・情報リテラシーを学ぶ機会を設け、ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ。

地域との連携

- ・学級通信、学年通信を適宜発行し、学校の様子を発信する。
- ・個々のよりよい成長のために、保護者と連携し学校の様子を伝える機会を多く持つ。
- ・校外学習や学校家庭地域連絡協議会の取り組みを通して、自分が育つ地域の特色を学ぶ。
- ・地域の一員として、社会参画を促す指導をする。

- ・授業形態を工夫し、意見交流ができる場面を設ける（全）
- ・生徒のつぶやきをひろう授業を心がける。（全）
- ・自主学習を回収し、生徒の学習状況を確認する。（全）
- ・基礎知識を問うミニテストを実施する。（市瀬）
- ・自分史づくりを通して新しい自分を見つける。（全）
- ・テスト前放課後学習会を実施し、自分にあった学び方を試行錯誤する機会を持つ。（全員）
- ・タブレットを活用した授業の工夫を提案する。（串松）

- ・学級を一人一役を基本とした、係・当番活動を工夫する。（担任）
- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気持ちを表現する 活動を行う。（担任）
- ・自分の良さを見つける活動を行う。（全）
- ・道徳の授業を通して、他者理解の力を伸ばす。（全）
- ・生活記録ノートを活用して、生徒との対話を行い、生徒理解を深める。（担任）
- ・道徳などを通して、いじめを含めた他者への攻撃が、どのような結果につながるかを考える。（全）
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルーシブ教育を進める。（穴山）

- ・教室環境の整備を行う。（担任）
- ・環境を快適にするための個人の工夫を指導する。（全）
- ・給食時の感染予防を徹底する。（東条）
- ・外部講師を招き、情報リテラシーを高める授業を行う。（小林）

- ・学級通信を発行し、日常の様子を保護者に伝える。（担任）
- ・学年通信を発行し、学年の様子や予定を保護者に伝える。（小林）
- ・校外活動などを通して、自分たちが住む地域の新たな一面を発見できる活動を行う。（全）